



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2009.4.8 (No.2542) 週報 No.35

第2560地区ガバナー／馬場 信彦
会 長／中村 和彦
会長エレクト／菊池 渉(クラブ奉仕A)
副 会 長／樺山 仁(クラブ奉仕B)
幹 事／石月 良典
S A A／明田川賢一
会 計／杉山 幸英

例会日／毎週水曜日12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(“はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:59名中42名
■先々週出席率:78.95%

【ビジター】

・米山奨学生
ケオ・ヴィチェット 君

【ゲスト】

・新潟県ウエイトリフティング協会
事務局長 小嶋栄二 様

【先週のメイクアップ】

[4.1] 新井RCへ
・加藤紋次郎さん



「夢をかたちに」

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ



シダレ桜

会 長 挨拶

中村和彦 会長



パスポートについて

パスポートの語源は、フランスのパスポールで港に出入りする船の書類を指し、それが人間の旅行許可証に用いられ始めたのが16世紀に入ってからだと言われている。

19世紀の半ば過ぎから第一次大戦前にかけて、国際情勢が安定するにしたがってパスポート携帯の義務はなくなり、特にヨーロッパやアメリカではパスポートなしで移動できるようになり、当時、義務化していた国はヨーロッパ周辺ではトルコとロシア帝国ぐらいのものであった。

第一次大戦が始まるとパスポートは、たちまち復活、以前よりはるかに厳しいものになり、それまでの1枚の紙切れから写真付きのものが求められた。

その最初は1914年のイギリスで戦後の国際連盟の枠組みの中で現在のような冊子型のパスポートが誕生した。

パスポートの歴史を見ると、平和の時は簡略化や廃止され、戦争や国際情勢の不安定な時期は、以前より厳しい制度が復活し、その繰り返しである。

日本のパスポート史は、当然明治以降に始まる。

それまでは外国との交渉をたっていたため必要なかった。

強いて言えば、秀吉の「朱印状」が一種のパスポートと言えようか。

明治2年、旅券発行のための布告が出され、正式に明治政府の旅券制度が始まり、第一号は明治2年6月発行のものである。

当時の旅券には次のような注意書きがついていた。

- ① 外国で借金をしたらどんなことをしても返す。
- ② 同国人に会ったらお互いに助け合う。
- ③ 外国人に対して恨みがあっても我慢する。

明治政府は、日本人渡航者に品行方正を求め、当時の旅券は、お上から下付されたもので、ありがたく頂くものであった。

終戦後の1951年11月28日、現行の旅券法が制定され、その後は旅券法が緩和され観光目的でパスポートが発給されるようになったのは1964年（昭和39）である。

幹事報告

石月良典 幹事

◎ 4月12日（日）予定でありました、三条ローターアクトクラブ主催の地球環境講演会は都合により中止になりましたのでよろしくお願ひ致します。

ニコニコBOX

中村和彦さん

小嶋様、卓話ありがとうございます。
もうすぐ桜も咲きます。一年で一番良い季節になりました。

石月良典さん

植田さんの講演会の成功を祈って。
本日の小嶋栄二様の卓話ありがとうございます。

野水文治さん

入会52年になりました。

荻根澤隆雄さん

桜満開の中、姫路・京都と行って来ました。
快晴に恵まれ、大変に良かったです。
黄色の帽子とランドセルが眩しいですね!!

山田富義さん

我が家の桜2分、3分咲きになりました。

若槻八十彦さん

暖かくなり、いろいろな花が咲いています。

樺山 仁さん

桜の花もふくらんで来ました。いよいよ春です。
本日の卓話の小嶋様に期待して。

藤田紘一さん

良い季節になりました。
景気が早く良くなれと祈るばかりです。
小嶋様、卓話ありがとうございます。

小出子恵出さん

5日（日）に友人と弥彦山を縦断しました。
国上寺を6時に出発して、角田山から下山。午後4時によく到着しました。

斎藤弘文さん、 外山雅也さん、 伊藤寛一さん、
石塚欣司さん、 杉山幸英さん、 五十嵐昭一さん、
浅野金治さん、 松永一義さん、 明田川賢一さん、
会田二郎さん、 高橋 司さん、 丸山行彦さん、

小嶋栄二様、卓話ありがとうございます。

石倉政雄さん

早退します。

船越正夫さん

都合により早退させていただきます。

4月8日分 ￥ 25,000

今年度累計 ￥948,000

卓 話

「ウエイトリフティングの 楽しみ方について」

新潟県ウエイトリフティング協会 小嶋栄二 様



本日はこのような会にお呼び頂き、誠に光栄です。トキめき新潟国体が9月に開催されるにあたり三条市では、ウエイトリフティング競技を含め4競技が行われます。三条には昭和40年より三条工業高校に部活動が始まり、幾多の選手を輩出し現在に至っております。そのような縁がありまして、国体の開催となりました。

競技が地味ですので、知っているけれども見たことがないという方も多いのではないかと思います。この機会に是非、ご覧いただければと思います。

今日の内容はウエイトリフティングの歴史、日本の活躍した選手、競技会の流れ、観戦をするときの楽しみ方について実技を交えてお話ししたいと思います。



歴史は、1896年の第1回アテネオリンピックから実施されています。1904年セントルイス大会では体操競技の一つとして行われ、階級分けもなく行われました。階級制がしかれ単独正式種目になったのは1920年アントワープ大会からでした。日本人初参加は1952年ヘルシンキ大会からです。2000年には女子のオリンピック正式種目となっていますが、国体では残念ですが、女子の大会は行われません。

日本の活躍した選手では、1960年ローマ大会銀メダルの三宅義信選手が初のメダリストです。このあと東京大会・メキシコ大会と金メダルを獲得しています。この三宅選手の弟の娘さんが三宅宏美選手で現在日本の男女の選手の中でメダルに一番近い選手といわれています。北京大会では6位でした。

競技会は、体重を量る検量から始まり、その2時間後に開始されます。国体は53、56、62、69、77、85、94、105、+105kg級の9階級で行われます。53kg級は選手育成のため日本独自の階級です。たとえば62kg選手の場合、56.01から62.00の間の体重でないと競技会には参加できません。多くても少なくても参加できないルールとなっています。この検量のときに、スナッチ、クリーン・アンド・ジャーク（通称ジャーク）の1回目のスタート重量を各選手の力に応じて記入して出します。

試技（バーベルをあげること）はスナッチ競技を先に全員が行い、次にジャークを行います。軽い重量から順次行われ、一番重い重量をスタート重量に書いた人が最後の方に出てきます。同じ重さの場合は、1回目の人が先に2回目・3回目の人があとから試技をします。それも同じときは番号の早い人が先に試技をします。スナッチ、ジャークとも3回試技を行いその成功した重量の一番重い重量がその人のベスト記録となり、そのトータルで順位を競います。

競技の楽しみ方ですが、一つ目は順位決定の方法を理解してください。一番重い重量を上げた人が優勝ですが、同記録の場合があります。この場合体重の軽い人が上位になります。さらに同記録・同体重の場合は先に挙げたほうが上位になります。国体の場合は、トータルではなく、スナッチ種目、ジャーク種目として競い、トータルでの競い合いはありません。

2つ目は3回とも挙らない場合があります。これを「記録なし」といい、業界用語で「ゼロを食う」といいます。どんなに強い選手でもこの危険性があります。スタート重量はこの意味で非常に大切となります。実力とその日のコンディションや対戦相手により低すぎず、高すぎずの重量を設定し勝負することとなります。

資料の結果表を見てください。楽しみ方の3つ目ですが、検量後「スタートリスト」が出されます。これは「結果表」ですので、スナッチ、ジャークの2・3回目の記録、ベスト・トータルがない状態のものがスタートリストです。これを手元に置きながら試技の記録をしていくとその階級の競技がどんな展開になるか、8位入賞記録や優勝争い、誰と誰が勝負をするのかがわかります。各県のセコンド（監督・コーチ）はこれを元に作戦をいろいろと立てることになります。この争いがある程度わかっていると面白さが倍増すると思います。

ここで、その一端を見てみます。結果表のスナッチ欄をご覧ください。7番小松選手は2回目137kg失敗ですが、3回目138kgにあげました。11番佐々木選

手が137kgにあとから成功しさらに体重差で小松選手は負けていて、番号が早いため、勝つためには138kgとなります。しかし、失敗した上に11番佐々木選手が成功しましたので、結果的には139kgが必要ということになります。

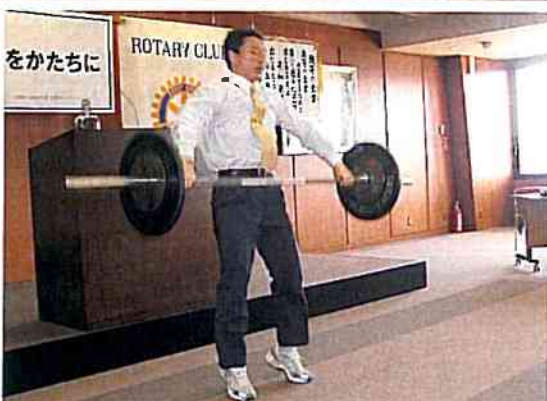
競技が進行していますので、その中でこのような判断をセコンドが短時間で判断して何kgに申し込むかが必要となります。その判断をする中でアップ場での対戦選手のあげ方を観察しながら調子の判断も独自に行い、自分たちの重量の決定を行っています。

試技の判定について最後に説明します。3人の審判が判定を行います。白2つ以上の判定で「成功」、赤2つ以上の判定で「失敗」です。審判の判定が正しくない場合、 Jury がその判定を変えることがあります。この判定は、反則動作をチェックしています。主な反則は、肘が曲がったあと伸びる、あげてゆるむが主なものです。

挙げばよいというのではなく、美しくあげることが必要です。そういう意味では、歴史の中で体操競技の一つとして行われていたのには納得がいきます。

わかりにくい説明もあったかと思いますが、ウェイトリフティング競技が少しでも理解していただけたら幸いです。ありがとうございました。

【実技】反則動作も入れて、スナッチ、ジャーク



次週例会 4月22日 会員卓話 成田秀雄 会員

次々週例会 4月29日 休会(祝日)

